

望遠鏡の男



望遠鏡の男

※注意

- くにちよぎ中心で兼堀も添えてあります
- 現パロ & 転生パロ
- 受け女体化
- 髪型変更
- 男審神者が少し出ます。

男子校

設定

女子校



刀乱高校

剣舞女子高校



隣同士の男子校と女子高
系列校なので何かと絡む



山姥切国広

高2。部室棟から借りたスコープで
隣の女子高の生徒会室を見ている。
異父兄妹3人で暮らしていて
とても仲良し。ブラコンでシスコン。

山姥切長義

高2。
山姥切家の本家の一人娘だけど
分家に地位を取られた。
1年の時から生徒会長をしている。



和泉守兼定

高2で転入してきた。
転入時期が休み明けテスト直前
だったので話し相手ができず
屋上に行ったら山姥切国広に会う。
叔父の家に住んでいる。



堀川国広

1年生で生徒会の庶務として
長義の手伝いをしている。
制服が2種類ある高校なので
長義とは制服が少し違う







↑本当はモテるのに、ロクに話したこともない俺に告白だなんて気の迷いだ...と思いきりノーカウントにしている男





山姥切国広は嫉妬はしないが、



山姥切長義の恋愛セーフティーネット





かつて俺が
山姥切の分家の血筋だと
知らされた時、

自分と
同じくらいの
少女と出会った

それこそが
本家の一人娘、

山姥切長義
だった

だがその数年後
長義の両親が
事故で亡くなり

その立場は
一変した

長義の父の
後釜には
俺の実父がつき

ここ何代かは
分家側が力をつけて
いたこともあって
本家は実質吸収される
ことになった

それは
残された長義も
例外ではなく、





将来的には
分家側に娶られると
決まった

長義……！

長義……！
長義……！



長義、
ここにいたのか……！

大人達から
聞いたんだ……！

お前は
俺の……

ねえ
どうして……

どうして
お前はいつも……

いつだって
どこまでも

後から来て奪い続けて
くるんだ……っ！

え……



それからだな
長義から俺への
態度がきつくなつて
いったのは

おいおい
思ったより
複雑じゃねえか



まああいつは
誰よりも山姥切を継ぐ
意思も能力もある上に

丸呑みされても
その腹の中から
食い破っていける
ような根性もある

嫌いな男との婚約すら
それを踏み台にして
内部から牛耳る手段に
していくだろう



…なあ
お前はそれで
いいのかよ？

そういう…
結婚とかまで
家の事情に
振り回されてよ

…別にいいさ

だって俺は

あいつほど
魅力的なやつなんて
他に知らないからな

…ああ
こいつは

家の事情に
振り回されてるとか、

全然
そんなんじゃないわえ

まあ俺も今より
改善できればと
思っではいるんだ

家のことも
色々と根回しや
準備もしている
つもりだし

それどころか
繋ぎ止める手段に
利用して

淡々と
ベタ惚れして
やがるんだ…

スコープを
背負った男は

今日も星を探す
少年のように

楽しそうな目を
していた

- 1 望遠鏡の男
- 2 夏祭りに行く話
- 3 長義がスカウトに声をかけられる話
- 4 本丸時代1(山姥切長義)
- 5 一人暮らしの長義と届け物
- 6 様子のおかしい話
- 7 本丸時代2(山姥切国広)

まさかお前と2人で祭りに行くことになるとはね…

今回ばかりは我慢してくれ

兄弟は傷ついた野ウサギを保護して間に合わなかったんだ

堀川の兄妹が待つから2人で行け

大丈夫であるかウサギ殿

その話に嘘くささがないのがすごいよ彼は…

そんなことよりお前の服装!

なんでいつも通りなんだよ!

Tシャツかよ!

?

別に俺の服なんて何でもいいだろう

…俺はお前の浴衣が見れば

それで良かったんだし

なに!?

こんな人混みで小声で喋るな!

ははは

聞こえなくてもいいことだ



こっちだけ
めかしこんでる
みたいじゃないか
お前も軽装は
似合ってる...

…髪



…ふん

見たことも
ないくせに…



あげてるの
珍しいな

お前は短髪でも
似合うだろうな



長義がスカウトに
声をかけられる話



…すみません
高校生なので

アツ
そーなの!?



じゃあさあ
卒業後にでも
どう?



え? 彼氏?
あーごめんねー

もしかして
壺でも売られて
いたのか?

健全だね
お前は…



遠慮して
おきます

長義!



…?
じゃあナンパか

違うし、
お前があれこれ
言うことじゃない

もしや
キヤバクラ…

…それも
少し違う



何だったんだ?

なら今のは

う…



?

?





これでマナー

…淫乱令嬢

2穴同時責め
中出し10発…



うわあ
お前

いや、まじ
サンプルだけでも
やばいんだって！

わざわざ
学校に持って
くんなや



快樂に
弱いもん
なんだよな

真面目系な子の
えろい姿って
たまんなくて
さあ

それって
まるで…

高嶺の花
みたいな子に
限ってさ



己を
律するため
修行に行っ
てくる

今の俺にあいつを
+ 直視する資格はない

今からかよ!?
5限目これから
始まるぞ!?

…お、山姥切
どこ行くんだ?



姿かたちは
いくらでも変えられる

けれどこの心を
乱していくのは
いつだってお前だった

お前を軸にして

俺ばかりが
変容させられていく



本丸時代1 (山姥切長義)

ねえねえ
山姥切さんは
好きな人いないの？

どうだろう
微妙かな

恋とか愛とか
いうものは

えー
誤魔化さないで
教えてよお

いつの時代でも
ありふれたものだった

けれど
気付いた時には
自分のそれは

随分と
歪な形に

ねじ曲がっていた
ものだった

はじまりは本家が
分家に吸収されると
知らされたとき

可愛がっていた
あいつに全てを
奪われたように感じ、

またしても
あいつに…

どうして
また…!

また…？

その絶望に
不思議な既視感を
覚えた

そしてその
既視感の正体を

今でははっきり
思い出している

かつての俺が
あの本丸に
来た時には

俺の写しは
隊長と呼ばれ

初期刀で近侍で

主の右腕どころか
左腕で両足で心臓の
ような存在だった

けれどどこか

釈然と
しなかった

あらゆる
ものを斬って、
みなを守る姿には

誰もが一目
置いており

あいつを中心にして
統率は取れているし

信頼関係もあった



あの男は
人の体を経ても
どこか人間味がなく

休憩も必要で
あるぞ兄弟

あの、えっと
お腹すいてる頃かな
と思っ...

兄弟達にすら
甘えることなく
隙を見せなかった

けれど
本歌だからかな

そんなあいつは

いつも俺を
見つめていた

それに
気付いていたから

一夜でいいからと
乞われた時も
特に驚きもしなかった

...ごまよ

その顔が欲に
まみれるところを
見てやるよ



いいよ
大丈夫だから

そのまま...



すい...

入った...



んッ

ビクッ

あッ



...そりゃ
そうだよ



あ...

あッ

あッ

あッ

本当は
この瞬間を
待ち望んだのは
俺の方だった



最初は
その重荷を
見かねただけ
だった

憎らしい
気持ち
が消え去った
わけではない



なのに
言葉を交わして

あの視線を
浴び続けて



指でも
玩具でもない

本当に、国広が、
俺の中に...

あいつしか
あいつしか

俺を求めてくるのを
想像するように
なっていた



はあ

はあ



…やっぱり

違ったのか



違った…？



それから
あの視線も
感じなくなり、
関係を遮断する
かのように
避けられた



笑えるくらい

軽んじられた
ものだった



大方
予想はできる

きっとあいつが
求めたのは
俺自身ではなく

本歌をも
組み伏したという
実績だったのだろう

名だけではなく
体も奪われ

ましてや今世では
娶られるだなんて

呪いのように
俺があいつに奪われる
外堀が埋められていく

このまま奪われ
続けるだけの
自分であるなんて

あまりにも、
耐えられない

その一方で

山姥切さんって
綺麗でモテるし

正直さあ

セックスって
したこと
ある？

…ずっと前に

一度だけ
なら

いつまで経っても
あの夜のことを、

なかつたこと
することも
できない

きゃー
すごい！
あたしも
好きな人
ほしく！

ときめき
たーい！

あいつを
想っている限り

…私の
それは
羨まれる
ようなものじゃ
なかったよ

俺は
好きや嫌いだけで割り切れる
恋愛なんてできないだろう

かつての自分と
違う生き方をしようと
長いままにした髪も

あいつにも
思い出させたくて

結局、前の髪型に
近付けさせたりもして

俺も私も

いつまでもどーいまでも
中途半端なままだった

憎くて
愛しくて

思い出させたいし

思い出さないでも
いてほしい



…ねえねえ
掃除のときに
聞いたんだけど



わあ…!!
流石だなあ…!!

山姥切さんって
シタことあるん
だって…!!



ねー

あー
あたしも
彼氏ほしー

バザツ



刀だった頃の
記憶を取り戻して

悩むことは増えただけ
それを疎ましいもの
だとは思わない

山姥切長義として
戦ったことは
誇りだったから

でも

あッ

ま
ゅ
ッ

ひくひく、

正直
この後ろの感覚だけは
忘れたままでいたかった

はあ

な、
なにこれ…

はあ

あっ…

昔あいつがあまりにも
熱い目で見てくるから
求められた時に備えねばと

そう思って
慣らしておこう
とした結果

体はすっかり
快楽を捨てるように
なってしまうていた



結局あいつとは
あれきりの関係
だったけど



それからも
その一夜を思い出しながら
何度も自分でなぞっている



は...
あぁッ...!



山姥切の本家なのに
生徒会長なのに



こんな痴女
みたいな姿

絶対だれにも
見せられない...



こんなことしてるから
AVなんかにも
声かけられるのかな…

プロの人には

はしたない女だと
ばれてしまうのかも
しれない…

おめ

おめ



でも指だけで
我慢してるじ

ちゅ

ちゅ

まだ
大丈夫なはず…



ん

でも
満足されたら
また…

びんぱん



長義…

今の国広は
どんな声を
出すんだろう…

ゆるん

ゆるん

早く欲しい…

長義…っ

長義！

コン

コン

長義っ！

やはり
いきなりだと
会えないか…

栃木から大量のぶどうが
届いたがうちには3人だけ
であるからな…

長義さんや
兼…和泉守さん
におすそわけしたら
どうかな

今日は
任務失敗だ
兄妹達…

あ、

ん…？

…中から随分
艶めかしい声が
するんだが…

これは
まさか…

ムモン
ムモン

※山姥切国広は前世が
極Lv99だったため
全ての能力が高い！！
視力5.0で聴力も人外
レベルなのだった！

いつかの回想
～うろおぼえの記憶～

そういえば
この前…

山姥切さんって
彼氏とセックス
してるんだって…

モヤ

モヤ

モヤ…

長義!
いないのか
長義!

いないなら
家に入って
置いていくぞ!

えっ
国広…!?

本物!?

嘘だろ!?
あーもう、山姥切家は
なんて思春期の女の家の
鍵を渡してんだよ…!!

化け物なのかな
かきこもるかな

ちよ、本当に
開けて…!?

いま中にいる
からっ!!

ちやんと
いれるから
少し待っ…

カ
チャ
カ
チャ





山姥切くんは
欠席かな？

煩惱に負けないために
また修行に出たらしいです



様子のおかしい話

生徒会室

では今月の
合同生徒会は
これにて終了
いたします

お疲れ様
でした！



こんなところに
座り込んで何を
しているのかな？

不審人物くん？

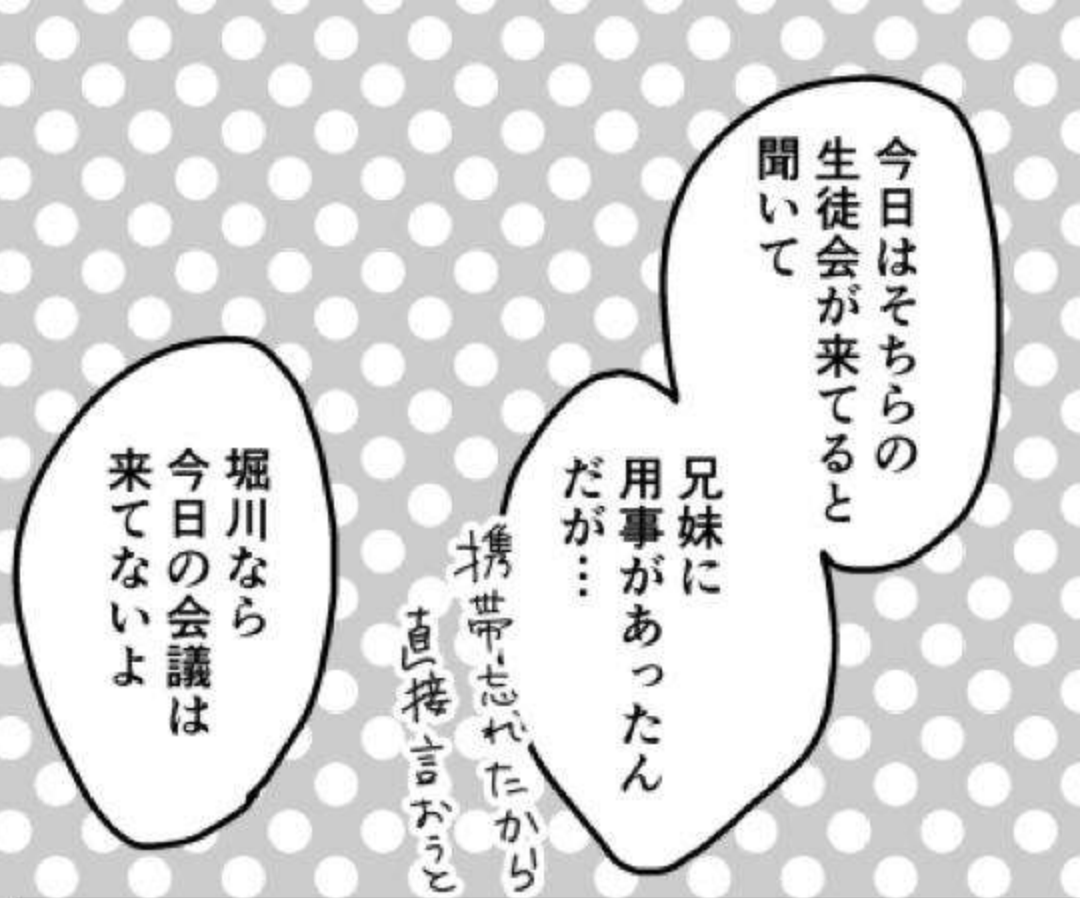




…肌、
白いな
ボンッ



ほら



今日はそちらの
生徒会が来ると
聞いて

兄妹に
用事があったん
だが…

携帯も忘れたから
直接言おうと

堀川なら
今日の会議は
来てないよ



もう帰ってる
かもしれないが
私の貸すか？
スマホ

ああ
助かる



教材室

そんなに
人の目が気になるか…
それなら…



白くて、
気持ちよさ
そうだ…

なっ…

なんだよ
いきなり…！

やっぱり
気持ちいい…

ダメだって！
誰かに見られる
だろ!?

カキカキ
カキカキ







だ、
だめだ…

どうして



なら俺にも

与えて
くれないか



俺は別に
いいのに

他の男に
股を開いてる
お前でも
淫らなことを
している
お前でも



でも…

だめだってば…



それが
お前なら

なんだって
いいのに…



こんな
流されたような
形じゃ…

なかつたことに
されそうなのは
嫌だよ…



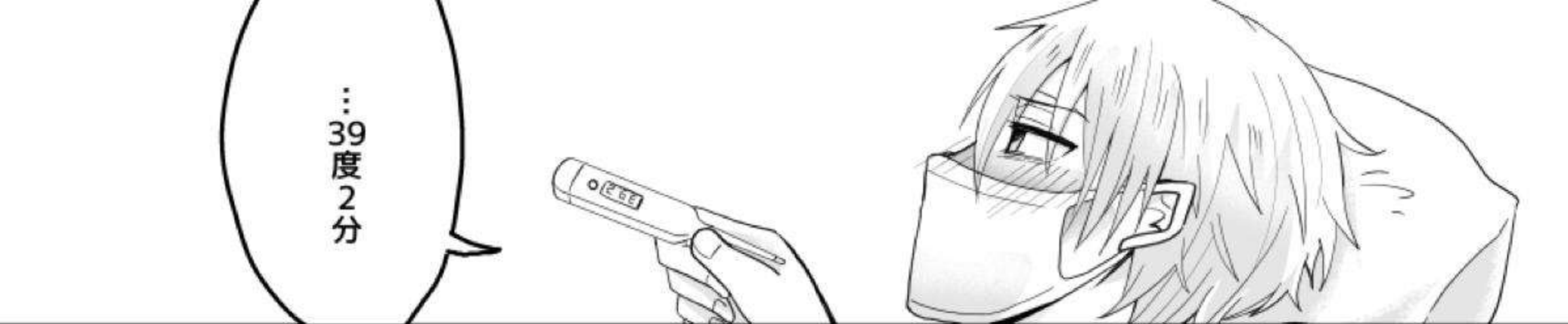
えっ

ばたんっ



なに…
うわっ…
体あつっ…!?

あっ
い、一期会長!!
保健室はどこの…



…39度2分



全く
様子がおかしいと
思ったら…

すまない…
久しぶりの風邪で
頭がふわふわしていた
10年ぶりくらい
だらうか

頑丈すぎか



しかし
あれだ
雄は生命の危機に
瀕すると性欲が
増すというのは
本当かもしれない…

お前…!

人がせつかく
触れなかった
話題なのに!
そのこと
だがな
長義



いくら熱に
浮かされていても

俺は心にもない
ことを言えるほど
器用ではないんだ

…そんなの
知ってるよ

お前は知らないかも
しれないな

どれほど俺が
お前に狂わされて
いたのかを



本丸時代2（山姥切国広）



刀達にも優しく
真面目な努力家で

誰もか認める！
よくできた人間だった

俺が初期刀として
顕現した当時の主は

しかし
事態が一変した

ある日突然
主の奥方が
亡くなったのだ



愛する者を
亡くした主は

心が壊れて
空っぽになってしまった

次の戦術か…

もうお前に
全て任せても
平気だろう…

俺が
主の分まで

この本丸を
支えなければと
思った

せめて俺だけは潰れないようにしなれば

何にも心を揺さぶられてはならない

てめえ一振で背負うなよ

うちの国広や山伏だって頼りになんだろ

甘えて隙を作ってはいけない

もっと気を抜いて人のように生きてたっていいと思うな

楽しんだり恋をしたり

そんなもの最もあつてはいけない

愛というのは心を潰す

それなのに聚楽第での監査を終えてから

本科だからだ

あいつは俺の本科だからこんなにも心が荒れるんだ

だってそうじゃなかったら駄目だろう

そうに決まっている

俺の心は言い知れぬざわつきに苛まれ続けていた

もし違ったら俺は…

そんな感情

見て見ぬ振りをして蓋をしなればいけない

そうして最後まで
そうあり続けた

此度の戦いでは
お前にずっと
助けられていた

お前は本当に
優れた隊長で
いてくれたよ

けれど同時に
私の未熟さのせいで



お前を随分
縛りつけてしまっ
たとも思う

本当は

もっと自由で
いさせるべき
だった

主
俺は…

これから君達が
どうなるかも
わからない

だからこれは
ただの願望でも
あるんだけれど

山姥切国広、
身勝手ながら

お前に最後の
頼みがあるんだ

これからは

心のままに
生きてほしい

主の心で

俺が真つ先に
思い浮かべたのは

俺の心を
奪い続けた
あの刀ひとだった

…拝命した

主の
心配が無用な程、
この心の通りに
生きてやるさ

次が
許されるようにならば

その運命を
たぐり寄せてやるこ
じやないか——

国広つて
いうんだ

わたしは
長義

山姥切
長義だよ

えっ
いきなり泣いて
どうしたのかな!?

わ、
わからない…

